



2020年11月号

検査室だより

実りの秋を迎えました。近頃はブドウもいろいろな種類があってどれも甘くておいしいですね。栗やきのこ、鮭にサンマ。食いしん坊にはたまりません。秋！サイコー！！

今年もインフルエンザの季節がやってきました。インフルエンザはインフルエンザウイルスに感染することで起こる病気です。もちろん普通の風邪も主にウイルスに感染することによって起こります。では、普通の風邪とインフルエンザとの違いは何でしょうか。一般的に普通の風邪はのどの痛み、鼻水、くしゃみや咳などの症状が中心で、熱が出てもそれほど高くはなりません。一方、インフルエンザは普通の風邪の症状に加えて筋肉痛や関節痛、全身倦怠感などの症状が急速に現れます。38度以上の高熱が2～3日続くこともあります。では今、私たちがもっとも恐れているコロナウイルス。その初期症状は発熱、咳、のどの痛み、全身倦怠感といわれています。「あれ？インフルエンザと一緒にじゃないの！」そうなんです。どれをとってもインフルエンザの症状とそっくりです。どんな名医であっても症状だけで見分けるのは難しいといわれています。インフルエンザは簡単にウイルス検査をすることができますが、コロナはまだ病院にいったらすぐ検査・・・というわけにはいきません。そこでせめてインフルエンザワクチンを接種して防げるものは防いでしまいましょう。「毎年ワクチンなんてやっとなん！」という人も今年はぜひ受けてください。「インフルエンザにかからない」これをこの冬の目標にしませんか。手洗い、うがい、マスク。そしてインフルエンザワクチンです。



そろそろストーブが恋しい季節になってきました。お肌の乾燥に気を付けてください。もちろん、火の元にも注意です。これから、寒くなってきます。体調に気を付けてお過ごしください。

公衆保健協会 検査室

